

区内の魅力的な建築物の公開イベント「オープンしなけん」について

1. 目的

品川区の魅力を発見・再認識するきっかけとして、建築の専門家が厳選した区内の魅力的な建築物を、建物所有者の協力を得て公開するイベント「オープンしなけん」を開催する。

2. 実施日（予定）

令和元年11月30日（土）

3. 周知方法（予定）

広報紙（10/11号）、区ホームページ、しながわ観光協会ホームページ、フェイスブック、ツイッター、チラシ（各地域センター、文化センター、図書館、学校等）

4. イベント内容（予定）

1) 建築物の公開 10か所

- ① 東京デザインセンター（TDC）（東五反田 5-25-19）
- ② 品川歴史館 茶室「松滴庵（しょうてきあん）」（大井 6-11-1）
- ③ 杉野記念館・杉野学園衣装博物館（上大崎 4-6-19）
- ④ 品川バプテスト教会（西品川 2-12-18）
- ⑤ 東急池上線戸越銀座駅・旗の台駅（平塚 2-16-1・旗の台 2-13-1）
- ⑥ 茶室「有時庵（うじあん）」（北品川 4-7-36）
- ⑦ 昭和ネオンビル高村看板ミュージアム（南品川 2-6-5）
- ⑧ 大井バプテスト教会（大井 5-10-12）
- ⑨ 白雉子ビル・雉子神社（東五反田 1-2-33）
- ⑩ 寄木神社（東品川 1-35-8）

2) 魅力発見ツアー 5ツアー

3) クロージングトーク

- ① 会場 大崎第一地域センター第一・第二集会室（西五反田 3-6-3）
- ② 時間 18:30-20:30（18:00開場）

参考) 前年度のイベント実施概要

1) 実施日

平成31年3月9日（土）

2) イベント内容

- ① 建築物の公開 8か所
- ② 魅力発見ツアー 3ツアー
- ③ クロージングトーク「建築を開く」

3) 参加者数

延べ1474人

「オープンしなけん」視察建築物

平成31年3月9日（土）に行われた「オープンしなけん」において、所有者の協力を得て公開された8か所のうち明治・昭和・平成に造られた3か所の建築物について視察する。

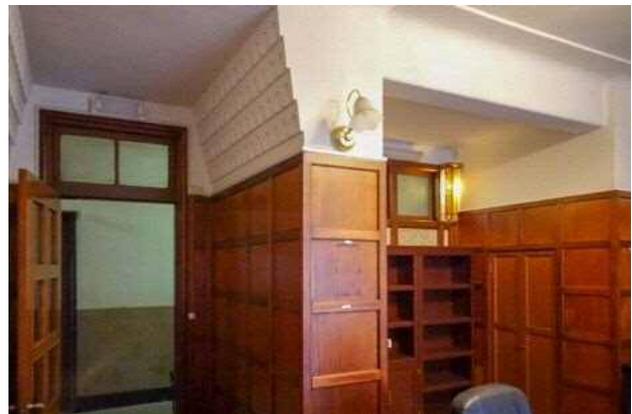
1. 日本音楽高等学校1号館（旧池田菊苗邸）

1925年に建てられた鉄筋コンクリートの洋館。池田菊苗は東京帝国大学理学部化学科の教授で、うま味成分であるL-グルタミン酸ナトリウムの発見者です。見どころは玄関部や1階の応接室。曲線や幾何学による独特の装飾で彩られており、造り付けの家具や照明器具が当時のまま残っています。

所在地：豊町2-16-16 構造・規模：鉄筋コンクリート造3階
設計者：不詳 竣工年 : 1925年（昭和元年）



外観写真



内観写真

2. 日本ペイントホールディングス（株）明治記念館

1909年に日本最古の油・ワニス工場として建設された品川区内に現存する最古の赤煉瓦構造の洋風建築物。記念館には塗料産業の歩みを伝える資料が展示されています。赤煉瓦の素材感と共に、事業家たちの物語を魅力的に伝えています。

所在地：南品川 4-1-15 構造・規模：煉瓦造 1 階

設計者：不詳 竣工年 : 1909 年（明治 42 年）



外観写真



内観写真

3. 茶室「有時庵」（うじあん）

1992年につくられた世界的建築家・磯崎新氏による現代茶室。ステンレスで作られたにじり口、チタニウムパネルの壁、円形と方形を組み合わせた外観といった斬新なデザインは現代建築の粋と茶の湯の心の調和を表しています。その一方で、囲い壁に千年屋久杉、床柱に薬師寺の古材の檜など貴重な材料を組み合わせています。伝統と革新の融合によって出来上がった現代茶室は、御殿山庭園の中にひっそりと佇んでいます。

所在地：北品川 4-7-36 構造・規模：1 階

設計者：磯崎新 竣工年 : 1992 年（平成 4 年）



外観写真



内観写真